



工学部 出身

山下 美衣 さん

株式会社ヒロテック
技術開発部 ドア製品設計課

やました・みえ / 広島大学工学部第一類2018年卒業。株式会社ヒロテックに入社後、技術開発部のドア製品設計課に配属される。現在はドア製品設計課に所属し、自動車のドアの開発・設計業務を担当している。

加工技術の ダイナミズムに触れる

国内自動車メーカーのドアや排気システムの開発・製造を担う、株式会社ヒロテックに勤務しています。所属するドア製品設計課では、試作品を用いた実験とPCでのシミュレーションを通して自社製品の性能を測定する業務にあたっています。

ドアの性能を正確に把握するためには、あらゆる角度から実験を行うことが重要です。必要な測定方法は前例がない場合も多く、論文を手掛かりに方法を模索します。誰も知らなかったアプローチを考案できたときには、大きなやりがいを感じます。

私がドア製作の面白さに気付いたの

は、自動車メーカーのインターンシップで試作車の製作現場を見学したことがきっかけ。硬い鉄板が一つのしわやゆがみもなく、美しい流線形に加工される様に魅了されました。憧れの仕事に従事している今は、毎日が充実しています。

学生時代に身に付けた 適応力を生かして

在学中は、自分の知的好奇心の赴くままに、大学で開講されるさまざまな講義を受けていました。専攻に全く関係のない、他学部の授業を受けたこともあります。講義の内容が今の業務と直接つながることはありませんが、未知の分野に対する適応力や、何事にもチャレンジする姿勢は、その時の経験から培われました。もちろん、業務の中で工学部の学びに助

けられたことも多々あります。必修科目を通して身に付けた幅広い分野の基礎知識や、シミュレーションを使用した研究のノウハウは今も役立っています。

自動車が進化するにつれ、部品に求められる性能も日々変わっていきます。クライアントのどんな要望も形にできるよう、今後も自分の技術力をさらに伸ばしたいと考えています。

広大のここがええね！

業務で参照する論文には、学生時代に講義を受けていた先生の名前が載っていることも。企業の現場でも役立つ、最先端の研究を学んできたことを誇らしく感じました。